

2023年2月6日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

## 笹川スポーツ財団 『スポーツ 歴史の検証』 インタビュー

——スポーツは社会課題解決のツールの一つ——

### 第114回 荻原 健司 氏

(長野市長・オリンピック 2大会連続ノルディック複合団体金メダリスト)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利）では、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々のインタビューをもとに、スポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考えるためのスペシャルサイト「スポーツ 歴史の検証」に掲載しています。

2022年度のテーマは「冬季オリンピック・パラリンピック」。これまでの冬季大会で活躍した選手や尽力されてきた方々に、それぞれの思いをお話いただきます。

今回登場するのは、ノルディック複合で冬季オリンピック 4大会連続出場、2大会連続団体金メダルを獲得した「キング・オブ・スキー」こと荻原 健司氏。現役引退後、2004年に参院議員に当選し、文教科学委員会委員、経済産業大臣政務官などを歴任。2021年11月より現在は「住んでいて幸せ」と市民に感じてもらえるよう、長野市長として奔走中。そんな荻原氏の貴重なインタビューを、是非お読みください。

#### 「スポーツは社会課題解決のツールの一つ」 荻原 健司 氏

【公開日】2023年2月6日（月）

【URL】[https://www.ssf.or.jp/ssf\\_eyes/history/interview/114.html](https://www.ssf.or.jp/ssf_eyes/history/interview/114.html)

スポーツ歴史の検証 インタビュー で検索ください！

##### 【主な内容】

子どもたちが誇りを持てる長野市に/オリンピック施設が点在する長野市への期待/団体金メダルをもたらした「V字ジャンプ」の登場/長野大会後も現役続行を決意した裏にあった自分との約束/競技の発展に欠かせないオリンピックの存在/誰もがどこでも気軽に運動できる環境づくりの重要性/広範囲に及ぶスポーツの価値



《プロフィール》

##### ■荻原 健司（おぎわら けんじ）氏

1969年生まれ。早稲田大学人間科学部卒業。1992年アルベールビル、1994年リレハンメル、1998年長野、2002年ソルトレーク、と冬季オリンピック 4大会連続出場。アルベールビルとリレハンメルではノルディック複合団体で2大会連続金メダルを獲得。2002年現役引退後は、2004年参議院議員に当選し、在任中は文教科学委員会委員、経済産業大臣政務官などを歴任。2021年より長野市長を務める。

##### ■佐野 慎輔（さの しんすけ）氏 /インタビューアー

1954年生まれ。産経新聞客員論説委員、笹川スポーツ財団理事／特別上席研究員。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

##### <スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会

【特別協力（予定）】株式会社アシックス



この件に関するお問合せ先  
笹川スポーツ財団 広報担当：清水、齊藤、竹下  
TEL：03-6229-5300 [info@ssf.or.jp](mailto:info@ssf.or.jp)